



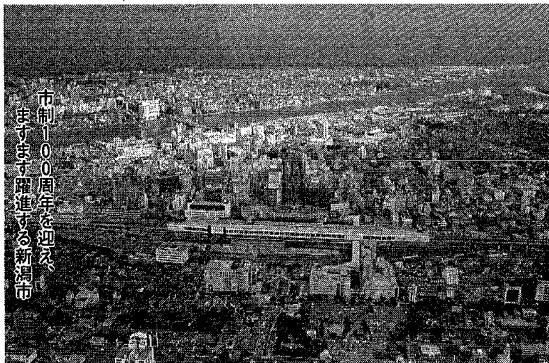
発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866 編集 企画部広報課 印刷 練第一印刷所

新潟市が“満100歳”

さまざまな記念事業を実施

先人に敬意、新たな100年へスタート 「市民憲章」、市の「木」「花」を制定

「市制100周年について2、5、6の各面で特集」



市制100周年を迎える
新潟市

人間の年齢でいえば満100歳にあたるわけで、市ではこれを記念して来年三月までの一年間、市民のみならずともさまざまな事業を実施します。昨日、四月一日にはまつくりへの指針、市民の心の寄りどころとなること、心寄りされる「市民憲章」、緑への親しみの象徴となる市木「市の花」がそれぞれ制定され、既にスタートして月一日に市制を施行して、昨日で〇〇周年を迎えました。

幾多の困難を克服、国際都市へ成長
新潟市は明治二十二年四月一日に施行された市制町制制を初めて市制〇〇周年を迎えるのは、これら三十九市となり、共同の記念事業

も予定されています。この一〇〇年間の新潟市は近隣の十三町村を合併しながら、現在の日本海側の中核都市、国際都市へと発展してきましたが、大火、地震といった、いくつもの災害にみまわれ、時代の市民が知るところを克服。市制〇〇周年は、こうした先人の努力のたまものであり、血と汗と涙の結晶です。

市民憲章 わたしたちのめざす新潟

信濃、阿賀野のゆたかな川の流が海にそそぎいるところ、ここがわたしたちのまち、新潟。日本海に沈む夕日が美しい。海のかなたの国ぐにむけて開かれたこの港まちは、流れのほとりの木のように、いよいよ育ち、栄えている。人びとは、昔から、力を合わせ、ねばり強く、この自由な開かれたまちを築いてきた。さあ、わたしたちも、いま、たしかに一步を踏み出そう。わたしたちが望む新潟をめざして、

ゆたかな海の幸と田畑のみり。
新潟は、自然がいかにされ、まもられるまち。

働くよろこび、憩いの静けさ。
新潟は、活気にあふれ、落ちつきのあるまち。

すこやかな生活は、わたしたちすべての願い。
新潟は、みんなで生きるために、助け合うまち。

はぐくむ心が、いのちを育てる。
新潟は、一人ひとりが大切にされ、いかされるまち。

海のむこうは、友となる国ぐに。
わたしたちは、世界の平和のかけ橋となる。

「市民憲章」とは？

この市民憲章は、新潟をこのようなまちにしたいという、新潟市民の願いと決意を言いあらわしたものです。これがなく、わたしたちの心にとどめられ、新潟のまちの心となってくれるよう、市制100周年を期して、制定されました。全体は、前文と、5項目の本文からできています。前文は、新潟の地理的な位置づけと自然を語り、また、その歴史と伝統を思いながら、わたしたちに、さらに未来にむけて、よりよいまちづくりに励むよう呼びかけています。本文は、新潟の恵まれた自然環境のなかで生きるわたしたちの生活のありようにしたがって、①自然、②産業・労働、③健康・福祉、④教育・文化、⑤国際平和、の順に、それぞれ、わたしたちのまちと市民のあるべき姿を項目ごとに述べてゆきます。とくに、最後では、新潟が5港の一つとして、広く海外に開かれた歴史を思い、新潟に生きるわたしたちは、世界の平和に貢献しよう、と、その決意を語ります。

市制100周年を祝って



私たちのまち「新潟」が、明治二十二年市制を施行してから、大正、昭和と時代を重ね、平成元年四月一日に一〇〇周年の記念すべき年を迎えました。

この意義深い年に、市民のみならずと一緒にお祝いができることは、私

困難を克服してこられた先人、先達の努力に改めて感謝し、その尊い汗の結晶である大いなる遺産を引き継ぎ、次の世代に

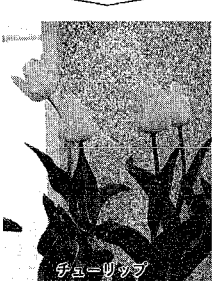
年に向けて飛躍する年にしたいと願ひ、多くの記念事業を市民のみならずと共に行なうまいわいと思ひます。市民のみならずの深いご理解とご協力をいただきながら、ぜひともこの記念事業を成功させたいと念願しております。

市の「木」「花」も制定 緑化推進へ弾み

市の木



市の花



市制一〇〇周年を記念し、市では新潟市を象徴する市の木に「柳(やなぎ)」を、「市の花」に「チューリップ」を、それぞれ今年一月一日に制定しました。

市制一〇〇周年を記念し、は、新潟市が「柳と柳のまち」として発展、柳が街路樹として、多くの市民から愛された公共用地が増やし、緑豊なまちを築いていくことにより、市民に愛されていることにより、またチューリップは、春を告げる、長い冬の「市の木」を柳とした理由の略イメージを挿し、

この意義深い年に、市民のみならずと一緒にお祝いができることは、私